

## 総合政策部 政策課

### 1 組織、管理事務等の改正（令和6年度改正分）

令和6年度は、「市民本位のまちづくり」をさらに推進するため、市民にわかりやすく、多様化する課題等へのきめ細やかな対応を目的とした組織体制の確立を図ります。

#### (1) 市民目線に立ったわかりやすい組織体制への再編

7部→10部に細分化することで、多様化する課題等へのきめ細やかな対応を行うとともに、部を再編し、親和性が高い課の集約を行うことで、政策課題の解決に向けた連携の強化を図ります。

あわせて、部及び課の名称については、市民に馴染みがあり所管する事務が具体的にイメージしやすい名称に変更します。

#### (2) 「室」の廃止による機動的な組織体制の実現

「室」を廃止し、部の直下に課を置くことで、組織のフラット化並びに迅速な意思決定による政策推進の加速化を図ります。

#### (3) 重点課題への取り組みの推進

##### ア 危機管理体制の強化

経営管理部から危機管理部門を分離し、専任の部を設置するとともに、危機管理課に「避難行動支援センター」を設置することで、非常時における機動力の確保と個別避難計画の作成を加速化し、自助・共助・公助の取り組みを推進します。

##### イ 広報広聴機能の一体的推進

秘書広報課から広報機能、総務課から広聴機能を分離し、新設する「広報広聴課」に集約し一体的に推進することで、市民との対話を通じて市民が知りたい情報を適切に把握するなどにより、市民ニーズに寄り添った情報をわかりやすく発信します。

##### ウ 移住定住施策のさらなる拡充

若者のまちづくり課の名称を「移住定住促進課」に変更し、移住・定住・少子化対策の総合調整に特化することで、本市の人口動態を踏まえ、若者・子育て世代の定着並びに結婚応援などに効果的に対応し、人口減少対策の深化を図ります。

##### エ 公民連携の充実・強化

若者のまちづくり課（大学・公民連携係）が所管している大学・公民連携の総合調整業務を、新設する「公民連携推進課」に移管し、あわせて政策課から

SDGsの推進、まちのブランド観光課及び産業政策課からふるさと納税、企業版ふるさと納税を移管し、ふるさと納税の充実やまちの課題解決に向けて、公民連携の手法を活用したまちづくりを積極的に推進します。

#### オ 子どもの学びを支えるICT活用支援の充実

1人1台タブレット環境による教育活動の円滑な運用を支えるため、教育研修所に「ICT運営支援センター」を設置し、ICT機器の保守管理に加えて各教科指導における機器の具体的な活用方法の支援に至るまで、幅広く技術的サポートを提供します。

#### (4) その他の改正

##### ア アウトドア交流推進課廃止に伴う事務移管

千丈寺湖畔を活用したアウトドア交流や大阪・関西万博を通じた観光・交流施策については、まちのブランド観光課へ、また野外活動センターの活用については、施設管理と一体的に推進するため文化スポーツ課に移管します。

##### イ 重点施策等を担任する「担当」制の整理

重点施策等の推進力を高めるため、組織上又は人事上配置している「担当」について、両者の違いがわかりにくく混在しているため、組織上の配置は「部」のみとし、「室」「課」には必要に応じて人事上の配置を行う方向で整理します。

## 2 庁議等

### (1) 政策会議

各施策・事業の方針等に関する合議制による最高意思決定機関（開催21回、議題38件）

### (2) 部長等連絡調整会議

意思決定事項について円滑に執行するための連絡調整を行う場（開催3回、議題9件）

3 まちづくり基本条例の具体化の取り組み

(1) 三田市市政への市民参加条例の運用状況

前年度（令和4年度）に実施した市民意見を聴く手続の実施状況について検証し、公表を行った。

ア 市民意見を聴く手続の実施状況

対象事項（7条）	市民意見を聴く手続（8条）
(ア) 市の憲章、宣言等 (イ) 市の総合計画その他市政における基本的な事項を定める計画等 (ウ) 市政における基本的な事項を定める条例 (エ) 義務を課し、又は権利を制限することを内容とする条例 (オ) 上記に掲げるもののほか、市民の生活に重大な影響を及ぼすおそれがあると市長等が認める制度、事業等	ア 附属機関 （公募・名簿委員の割合が3割以上） イ パブリックコメント （30日以上） ウ 意向調査 エ ワークショップ オ 公聴会 カ 意見交換会 キ その他の手続
<上記の例外> ・市税の賦課徴収その他金銭の徴収に関するもの ・市長等の裁量の余地がないもの ・市長等の機関内部の事務処理に関するもの ・関係法令の改正に伴う規定の整備その他軽易なもの ・緊急に行わなければならないもの	

【運用状況】

	三田・北神地域の急性期医療の確保に関する基本構想	三田市行政経営方針	第3次三田市スポーツ推進基本計画
種別	市民生活に重大な影響を及ぼす制度等	基本的な計画	基本的な計画
区分	新規	改正	改正
作業期間	令和4年度	令和4年度～	令和3年度～令和4年度
計画期間等	令和4年度～	令和4年度～令和8年度	令和5年度～令和9年度
市民意見を聴く手続	意見交換会 パブリックコメント	附属機関 パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント

	第5次三田市農業基本計画	第2期三田市子ども・子育て支援事業計画（改定）	第6次三田市男女共同参画計画
種別	基本的な計画	基本的な計画	基本的な計画
区分	改正	改正	改正
作業期間	令和3年度～令和4年度	令和4年度	令和4年度
計画期間等	令和4年度～令和13年度	令和5年度～令和6年度	令和5年度～令和9年度
市民意見を聴く手続	意向調査 パブリックコメント	附属機関	意向調査 附属機関 パブリックコメント

	第3次三田市地域福祉計画	第6次三田市障害者福祉基本計画・第7期三田市障害福祉計画・第3期三田市障害児福祉計画	第3次三田市健康増進計画・第2次三田市自殺対策計画
種別	基本的な計画	基本的な計画	基本的な計画
区分	改正	改正	改正
作業期間	令和3年度～令和4年度	令和4年度～令和5年度	令和4年度～令和5年度
計画期間等	令和5年度～令和9年度	令和6年度～令和11年度	令和6年度～
市民意見を聴く手続	意向調査 ワークショップ パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント

	第2次三田市食育推進計画	三田市認知症の人と共に生き支え合うまちづくり条例	三田市の都市計画に関する基本的な方針（三田市都市計画マスタープラン）
種別	基本的な計画	基本的な条例	基本的な計画
区分	改正	新規	改正
作業期間	令和3年度～令和4年度	令和2年度～令和4年度	令和4年度
計画期間等	令和5年度～令和9年度		令和5年度～令和14年度
市民意見を聴く手続	意向調査 パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント	意見交換会 パブリックコメント
	三田市空家等対策計	第4次三田市環境基	さんだゼロカーボン

	画	本計画	シティ推進計画
種別	改正	改正	新規
区分	基本的な計画	基本的な計画	市民生活に重大な影響を及ぼす制度等
作業期間	令和4年度	令和4年度	令和3年度～令和4年度
計画期間等	令和5年度～令和9年度	令和5年度～令和9年度	令和5年度～令和12年度
市民意見を聴く手続	意向調査 パブリックコメント	意向調査 パブリックコメント	附属機関 パブリックコメント

	生物多様性さんだ里山戦略（仮称）	第4次三田市一般廃棄物処理基本計画中間見直し	次期三田市水道ビジョン
種別	新規	改正	改正
区分	基本的な計画	基本的な計画	基本的な計画
作業期間	令和4年度～令和5年度	令和4年度～令和5年度	令和4年度～令和5年度
計画期間等	令和5年度～令和12年度	令和5年度～令和9年度	令和6年度～令和15年度
市民意見を聴く手続	意向調査 パブリックコメント	附属機関 パブリックコメント 意向調査	意向調査 パブリックコメント

イ 市政参加市民名簿の登録状況と活用実績

<名簿登録状況>

	発送数	登録者数				名簿登載期間 (条例上 2年以内)
		総数	男	女	備考	
令和3年度	1,800	143	76	67	令和5年3月末時点	令和5年10月末まで
令和4年度	3,000	290	172	118	令和5年3月末時点	令和6年7月末まで
計		433	248	185		

【市政参加市民名簿活用状況】

附属機関等に選任 24人

ワークショップ等 3件

ウ まちづくり提案

0件

## (2) 行政評価

前年度（令和４年度）に市が実施した事業内容や結果をもとに、第５次三田市総合計画基本計画に規定する全２５施策について事後評価を行った。

### ア 対象

第５次三田市総合計画基本計画に規定する施策（２５施策）

### イ 手法

(ア) 市の実施機関による内部評価

(イ) パブリックコメント ※意見１０件

(ウ) 行政評価委員会（附属機関）による外部評価

## 4 市民意識調査

### (1) 目的

市民生活の基本的な意識を把握し、政策形成、施策運営の基礎資料とする。

### (2) 調査の内容

#### ア 調査対象

市内に在住する１８歳以上の市民３，０００人

#### イ 抽出方法

住民基本台帳から地域ごとの人口分布などを考慮して無作為に抽出

#### ウ 配付方法

郵送

#### エ 回収方法

郵送（インターネットによる回答も可）

#### オ 調査時期

令和５年７月５日～７月３１日

#### カ 項目別調査

(ア) 第５次三田市総合計画の成果指標の進捗や今後の居留意向について

(イ) 「SDGs（持続可能な開発目標）」への関心や、まちづくりの各分野の満足度・需要度について

#### キ 調査結果

(ア) 設問数

全２５問

(イ) 標本数

２，９９７件

(ウ) 有効回収数

１，３０１件（４３．４％）

※郵送９１２件、インターネット３８９件

## 秘書課

### 1 市長、副市長の秘書

- (1) 市長、副市長の日程調整及び随行
- (2) 市公式ホームページ「市長のページ」への日程、メッセージ等の掲載

### 2 渉外及び交際

#### (1) 三田市議員待遇者

三田市議会議員待遇者規則により、2期8年（通算）以上議員経験のある者に対し議員待遇者き章を贈呈し、規則に定める待遇を行う。

三田市議員待遇者数18名

#### (2) 交際費（令和5年度執行状況）

内 訳	件 数	金 額
弔 慰	14 件	170,330 円
贈答・記念品	9 件	27,581 円
接 遇	0 件	0 円
会 費	19 件	118,000 円
計	42 件	315,911 円

### 3 市の儀式、叙勲、褒章及び表彰

#### (1) 市制記念式典

市制施行60周年までは、毎年7月1日の市制施行記念日に記念式典を開催し、あわせて三田市表彰の贈呈式を行っていたが、事業の見直しにより以後は節目の年に式典を行うこととした。令和5年度は、市制施行65周年であったため記念式典を開催した。

#### (2) 栄典（叙位、叙勲及び褒章）

地方自治功労に係る受章候補者の上申（春秋叙勲、死亡叙勲ほか）等を行う。

##### ア 叙勲・叙位

- (ア) 春秋叙勲 1件（永徳 克己）
- (イ) 死亡叙勲・叙位 2件（岡田 義弘）（酒井 岩夫）

##### イ 褒章 なし

#### (3) 三田市表彰、さんだチャレンジャーズアワード

三田市表彰規則に基づき、三田市表彰選考会を経て受賞者を決定し、表彰状及び副賞を授与する。平成30年度から市制施行60周年を記念し、新たな表彰制度「さんだチャレンジャーズアワード」を創設。

表彰選考会：令和5年5月15日（月）13時30分～（市長公室）

表彰：三田市制施行65周年記念式典「感謝と飛躍へのつどい」

令和5年7月1日（土）10時30分

（三田市まちづくり協働センター 多目的ホール）

令和5年度三田市表彰・さんだチャレンジャーズアワード受賞者（敬称略）

表 彰	功 勞 ・ 分 野	個 人	団 体
三田市さつき賞	自治	佐川 勝	
	社会福祉	今井 昭夫	
	社会福祉	堺 莞爾	
	産業	勢戸 崇市	
	産業	堂本 啓次	
	産業	福井 徳忠	
	教育文化	高田 義久	
さんだチャレンジャーズアワード	スポーツ	金澤 英果	
	スポーツ	西岡 瞳	
	スポーツ	羽澤 慎治	
	スポーツ	広岡 宙	
	文化		兵庫県立有馬高等学校 農業クラブ フラワーアレンジメント班
	文化	今村 勉	
	文化	萩原 李帆	
	文化	安田 穂香	

#### 4 市長会及び副市長会

令和5年度に市長及び副市長等が出席した主な会議

- (1) 全国市長会／総会：年1回、全国都市問題会議：年1回

6月7日	第93回全国市長会議（通常総会） （東京都・ホテルニューオータニ）
------	--------------------------------------

- (2) 近畿市長会：年1回

5月11日	近畿市長会（大津市・びわ湖大津プリンスホテル）
-------	-------------------------

- (3) 兵庫県市長会／総会：年2回

4月26日	第1回総会（神戸市・THE SOURAKUEN）
10月5日	第2回総会（西宮市・ホテルヒューイット甲子園）

(4) 阪神・丹波市長会／年1回

10月5日	阪神・丹波市長会（西宮市・白鷹緑水苑）
-------	---------------------

(5) 兵庫県副市長会／年2回

4月14日	第1回副市長会 （洲本市・淡路インターナショナル ザ・サンプラザ）
8月25日	第2回副市長会 （神戸市・ラ・スイート神戸オーシャンズガーデン）

(6) 阪神・丹波副市長会／年2回

7月18日	第1回副市長会（西宮市・西宮神社会館）
1月30日	第2回副市長会（西宮市・白鹿宜春苑）

(7) 県・市町懇話会：年2回

5月12日	第1回県・市町懇話会（神戸市・県公館）
1月26日	第2回県・市町懇話会（神戸市・県公館）

5 名誉市民

三田市名誉市民条例に基づき、公共の福祉の増進他の功績が卓絶する者に対して、議会の同意を得て市長が決定し贈る称号である。三田市名誉市民証及び三田市名誉市民章をあわせて贈呈する。また、市長は特に親善その他の目的で市の賓客として来訪した者に対し、三田市特別名誉市民の称号を贈ることができる。三田市特別名誉市民証及び記念品をあわせて贈呈する。

- (1) 三田市名誉市民 受章なし
- (2) 三田市特別名誉市民 受章なし
- (3) 過去の受章者

称号	年度	受章者
特別名誉市民	平成11	コリーン・カイク氏（オーストラリア・ブルーマウンテンズ市）
		ジェリー・ウィリアムズ氏（アメリカ合衆国・キティタス郡）※平成25年7月逝去
		宋奉奎氏（大韓民国・北済州郡、現済州市） ※令和5年12月逝去

## 広報広聴課

### 1 広報誌の発行

広報誌「広報さんだ」を発行する

#### (1) 広報誌「広報さんだ」の発行状況

ア 発行日 : 毎月1日に定期発行(年間12回)

イ 内 訳 : 32ページ(全頁カラー 5回)

36ページ(全頁カラー 7回)

40ページ(全頁カラー 0回)

ウ 規 格 : A4判冊子型

エ 発行部数 : 48,500部(R6.3月現在)

オ 全戸配布数 : 46,972部(R6.3月現在)

※配布については、三田市シルバー人材センターへの宅配委託事業で平成25年度から実施

#### (2) その他の媒体を使った広報誌の配布

ア 市ホームページ

広報誌を掲載(PDFファイル)

イ 声の広報

音訳ボランティア「ともしび」により、毎号の内容をCDに吹き込み、視覚障害者へ声の広報として届けている。

ウ 「ユニバーサル」広報

市政情報やくらしの情報などを動画(音声・字幕・手話あり)で発信。市ホームページに掲載するほか随時Facebookへの投稿を行う。また、上記イの音声データを市ホームページに掲載(R1.8~)。下記エも「ユニバーサル」広報の一環として導入。

エ 多言語対応アプリ「カタログポケット」

広報誌「広報さんだ」を9言語の音声読み上げ、自動翻訳するアプリを活用して配信。(R2.9~)

オ マチイロ

スマートフォンで各自治体の広報誌やニュースを閲覧できるアプリに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

カ マイ広報誌

自治体等が発行する広報誌を記事ごとにデータ化(文字情報のみ)し、インターネットで無料配信するサービスに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

キ HYOGO ebooks

兵庫県内の電子書籍を無料で閲覧できる、地域特化型電子書籍ポータルサイトに、広報誌を掲載(PDFファイル)。

(3) 広報モニター制度の活用

人数：公募の市内在住・在勤・在学の16歳以上 404人（R6.3月現在）

内容：広報誌に対するアンケート回答

2 コミュニティFMラジオを活用した広報

(1) 広報番組

ア 「モリモリSANDA」

（第1水曜の18時～18時20分と翌土曜の10時～10時20分再放送）※R5.6月で終了

市長が出演し、市政を分かりやすくお伝えする広報番組

イ 「さんだ 学び・子育て情報局」

（第1・3月曜の12時～12時10分）

市職員が、子育てや教育に関する情報を分かりやすく話す広報番組

ウ 「三田歴史通信」

（第1木曜の15時10分～15時20分）

市職員が、三田市の歴史のこぼれ話・郷土学習に関する取り組みやサービスなどについて分かりやすくお伝えする広報番組

エ 「スマイル人権」

（第2木曜の15時10分～15時20分）

人権に関するイベントや啓発講座など、自己啓発のための情報をお届けする広報番組

オ 「校区すみからすみまで！」

（第1・3・5土曜の10時45分～10時50分、翌日曜の19時から19時5分と翌月曜12時45分～12時50分再放送）

三田市内にある全小学校（20校）の児童が、学校や校区のことを生放送で紹介する広報番組

カ 「賢い消費者になりましょう」

（第3月曜の15時10分～15時30分）

消費生活センターの相談員や市職員が、消費生活に関する話題を解説する広報番組

キ 「SUNだなヒト。」

（偶数月第3火曜の15時10分～15時25分）

地域で活動されている市民にスポットを当て、地域の魅力とともに紹介する広報番組

ク 「さんだ「学び×体験」ナビ～とっておき！イベント情報～」

（第3水曜の15時10分～15時20分）

市が実施する、さんだで「学んで」・「体験」できる各種イベントを情報で紹介する広報番組

- ケ 「教えて！スター☆シニア」  
 (第3木曜の15時10分～15時20分)  
 学びに！趣味に！仕事に！シニアがいきいきと活躍する姿や、健康に過ごすための情報をお届けする広報番組
- コ 「こちら三田市消防本部」  
 (第4木曜の15時10分～15時30分)  
 消防本部職員が、日常の火災予防や応急手当の基礎知識などのほか、消防本部の取り組みについてお伝えする広報番組
- サ 「Sanda-full SANDA 来て！見て！寄って！さんだの魅力イチオシ情報」  
 (第4木曜の16時5分～16時15分)  
 魅力的な人・グループの活動、味覚、行事などの紹介を通じてさんだの魅力と元気をお届けする広報番組
- シ 「備えあれば憂いなし」  
 (6月・8月・9月・1月の第2木曜の16時5分～16時25分、同月内に再放送有り)  
 地震や台風などの災害に対して、日頃の備えや対策などのポイントの紹介や、市が行う防災施策についてお伝えする広報番組  
 ※「備えあれば憂いなし」拡大版  
 2月・3月中に30分×6回(うち再放送4回(1番組を3回放送))  
 令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災者支援に三田市から派遣された職員に出演してもらい、現地の状況などを詳しく語ってもらおうとともに、日ごろの備えについて話をしてもらう。
- ス 「魅力がたくさんだ！～三田のまちづくり×SDGs～」  
 (奇数月第3火曜の15時10分～15時25分)  
 第5次三田市総合計画によるまちづくりと、まちづくりを進める視点となるSDGsについてお伝えする広報番組

(2) 広報CM

「三田シティインフォメーションCM」

(毎日1回16時頃放送)

20秒間のスポット告知CMを放送し、市政情報やシティセールス推進を目的とした情報を発信

(月ごとに1種類、年間12種類)

※「三田シティインフォメーション」拡大版

(毎日16時時報前の20秒告知番組。3月は10時、12時時報前及び16時時報前の3回の放送を行う)

10時及び12時は2月に告知した能登地震募金の文言を変更したVer.を作成し、放送。16時はこれまでどおり新たな告知内容を作成し、放送。

### 3 ホームページ等を活用した広報

#### (1) 「ホームページ」

令和4年3月31日に、「知りたい情報を見つけやすく」をコンセプトに三田市公式ホームページをリニューアル。最新情報を分かりやすく発信、三田市の魅力を市内外に向けてPR。トップページに「サイト内検索」や「簡単手続き検索ナビ」なども配置。

アクセス数：5,895,362件/年、491,280件/月平均

#### (2) 「フェイスブック」

平成23年10月から市公式Facebookを開設。市ホームページの補完的位置付けとし、イベント情報や動画など、交流促進につながる魅力ある情報を発信している。災害時などは、緊急情報なども発信する。

#### (3) 「三田市LINE公式アカウント」

令和3年10月18日から「暮らしに役立つ情報を届ける」というコンセプトのもと、緊急情報の一斉通知や、利用者の属性や希望する情報に応じたプッシュ型の情報配信で活用。

友だち登録者：11,494件（R6.3.31現在）

### 4 広報掲示板を活用した広報

公共施設や公園、主要各駅ターミナルに設置した広報掲示板（32カ所）に、市のイベントや啓発ポスターなどを掲示している。

貼付ポスター：年間24種類

### 5 新聞やテレビ・ラジオなどを通しての広報

(1) 市長記者会見（4回）、記者発表

(2) 週間行事予定表の配布

(3) 市政記者クラブ、テレビ、ラジオの取材協力

### 6 その他の広報

ニュースダイジェストの作成

### 7 案内地図「わがまちさんだ」の配布（R4.11月発行）

市内案内用地図と三田の魅力や取り組みの紹介、市内7事業者の有料広告を掲載

(1) 発行部数：20,000部

(2) 活用：転入者に配布、公共施設の窓口で希望者に配布、各市視察・会議等で配布

### 8 市政刊行物の発行状況の把握

市政刊行物の発行状況等を把握するため登録番号を付し、効果的な広報

の推進を図る。

- (1) 登録件数：121件
- (2) 登録内容：カード類1件、広報誌7件、小冊子30件、書籍10件、チラシ27件、ポスター21件、リーフレット25件

## 9 市政出前講座

市民の要請により市職員が出向き、市政のしくみや制度、手続き、事業などをわかりやすく説明し意見交換をする中で、市民の市政理解や関心を高め、行政と市民の協働のまちづくりを推進する。

[事業概要]

- (1) テーマ数：53項目
- (2) 開催方法：市民主体の講座として開催。市民が各講座の担当課に申し込み、調整のうえ開催
- (3) 開催実績：79回 3,012人が参加
- (4) 主な受講テーマ：「いざという時に備えて」、「消費者トラブルを知って、被害を防ごう」、「健康講座」など
- (5) 主な受講団体：生涯学習カレッジ関係、地縁団体(自治会、老人会)など

## 10 市民の声の受付・処理

### (1) 陳情・要望

#### ア 種別受理件数

種別	自治会関係	その他団体	市外団体	議会会派	合計
件数	3	13	6	1	23

#### イ 地区別受理件数

地区名	三田	三輪	広野	小野	高平	藍	本庄	フラワ	ウツ	カル	市内	市外	その他	合計
	田	輪	野	野	平		庄	ー	デ	チ	の	外	他	
件数	2	2	1	0	0	2	0	3	3	0	4	6	0	23

### (2) わたしの提案・その他の声

#### ア 年度別件数経過

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数	353	405	283	264	226

#### イ 令和5年度中の提案等の受理件数

- (ア) 提案はがき 46件
- (イ) わたしの提案コーナー(市ホームページ) 133件

(ウ) その他

47件

(3) 田村克也市長への手紙

令和5年10月1日から、市民の声が市長へ直接届く「田村克也市長への手紙」を開始

ア 年度別受付別件数

年 度	令和5年度
ホームページ	191
郵送、窓口	121
合 計	312

## 移住定住促進課

### 1 産官学地域連携推進事業

学生（若者）、事業者、大学、地域等が連携してまちづくりに取り組むための仕組みづくりを行った。

#### (1) 学びのまち・三田推進事業

市内外の学生が三田のまちに集い、学生の自由な発想に基づいた自主的な活動が活発に行われる「学生が成長できるまち三田」を目指した事業を実施。

##### ア 三田市学生まちづくり活動費補助

採択団体 : 4団体

補助金 : 61,000円

##### イ 三田学生サミット（発表会&交流会）

企画・実施 : こみんか学生拠点

日時 : 令和6年2月17日（土） 対面にて開催

発表団体 : 7団体

交流会参加者 : 学生19人、社会人28人（合計47人）

##### ウ 若者のまちづくり検討会議

本市の若者のまちづくり施策について議論し、若者のまちづくりの機運を醸成することを目的として、検討会議を設置。

日時：令和5年10月14日（土）、令和5年10月28日（土）、令和5年11月12日（日）、令和5年11月19日（日）

※10月28日、11月19日はオンラインにて開催

メンバー構成：ファシリテーター1名、講師1名、社会人3名、学生4名

#### (2) 青少年健全育成事業（二十歳を祝う会）

日時場所：令和6年1月7日（日）郷の音ホール

対象：平成15年4月2日～平成16年4月1日生まれの者

対象人数：1,096人 参加者：803人

※従来通りの1部制で実施。

その他：企画・運営のアイディアとサポートを求めるために「二十歳を祝う会サポーター」を募集。応募した5人が、一部企画の検討や代表あいさつ等を行った。

### 2 移住UIJターン促進事業

#### (1) 移住ポータルサイト（さんだうえるかむサイト）の運営

#### (2) 移住相談窓口「Sanda住まいる」

三田を広くアピールし、新たな移住定住ニーズに応えるため、一元的な移住定住相談窓口を設置している。令和5年度は220件の相談（窓口・電話・オンライン相談）があった。

#### (3) さんだ住まいるチームメンバー

三田市に転入（移住）を希望する方や関心をもっている方の相談員として移住キャンペ

ーン等に参加するとともに、主に市外への広報員として市の魅力や移住に関する情報の発信を行い、移住・交流の促進を図る。

構成：三田の魅力を積極的に伝えたい方 22人（新規4人、継続18人）

任期：令和5年9月～令和6年8月

活動実績：意見交換会（オンライン、対面） 実施日：令和5年4月21日（金）、令和5年5月25日（木）、令和5年12月9日（土）

オンライン移住相談対応、移住フェアへの出展、オーダーメイドさんだツアー対応、三田市移住定住施策へのアドバイス

#### (4) 移住促進

##### ア 出張移住相談、首都圏でのPR強化

- ① 令和5年5月13日（土）大阪ふるさと暮らし情報センター（※猪名川町と合同開催）  
参加人数：5人
- ② 令和5年6月10日（土）大阪ふるさと暮らし情報センター  
参加人数：6人
- ③ 令和5年9月16日（土）大阪ふるさと暮らし情報センター  
参加人数：2人
- ④ 令和5年10月7日（土）東京ふるさと回帰支援センター  
参加人数：5人
- ⑤ 令和5年11月11日（土）大阪ふるさと暮らし情報センター（※猪名川町と合同開催）  
参加人数：2人
- ⑥ 令和6年1月20日（土）東京ふるさと回帰支援センター（※オンライン）  
参加人数：6人
- ⑦ 令和6年3月16日（土）東京・恵比寿 VIZZSTUDIO（※兵庫県主催イベントに参画）  
参加人数：20人

##### イ 住宅情報誌に掲載

大阪駅を含む関西主要都市で情報誌を活用したPRを実施。

5.5万部配布（9月下旬～10月上旬）

#### (5) 地域活躍人材育成プログラム（三田スモカモス・プロジェクト）

市内の企業等が抱える課題解決を通じて大学生が地域社会との接点を持ち、大学生自身が三田市を舞台に「本当にやりたいこと」を発見・実現する方法を考え、実践に導くことにより、若者が地域に関わり三田に愛着を持つことで定住・Uターン志向の醸成につながるモデルの確立を目指す。

参加人数：13人

協力企業：10社

##### ア ワークショップ

日程：令和5年7月8日（土）、8月10日（木）、10月14日（土）、10月28日（土）

##### イ 学生の市内企業 活動体験（8～9月）

##### ウ 成果発表会

日程：令和6年2月17日（土）

#### (6) オンライン移住体験ツアー

ア 「トカイナカなまち、三田で暮らす」

日程：令和5年9月30日（土）

内容：”まち”の利便性と”さと”の自然環境を併せもつ「場所」としての三田と、  
そこで暮らす「人」の暮らし方、両方を体感できるツアー。

参加人数：13人

イ 「「チャレンジできるまち三田」～先輩移住者が語る！移住検討し始めたら、やってみて欲しいたった1つのこと～」

日程：令和6年2月24日（土）

内容：先輩移住者から、移住を決めるに至った理由、移住後のチャレンジをお伺いし、移住先での生活で自分が何を求めているのか、「優先順位の高い目的や理由」を発見するツアー。

参加人数：16人

(7) NPO法人兵庫空き家相談センターとの連携

良質な住宅ストックが世代を超えてつながることで、オールドタウン化抑制と農村部の活性化を図るため、空き家・中古住宅(住宅ストック)の活用の推進を図る。

ア 空き家流通会議 12回（毎月第2火曜日）（対面、書面）

イ 住まいを考えるセミナー

① 日程：令和5年7月29日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：10人

個別相談件数：3件

② 日程：令和5年9月27日（水）

場所：フローラ88 フローラホール

参加人数：52人

個別相談件数：9件

③ 日程：令和6年2月13日（火）

場所：広野市民センター

参加人数：18人

個別相談件数：2件

ウ 住まいを考える出張セミナー（母子地区）

日程：令和5年11月12日（日）

参加人数：11人

日程：令和6年2月11日（日）

参加人数：21人

エ 住まいの相談会

日程：令和5年4月19日（水）以降、毎月第3水曜日（3月のみ祝日のため翌日に実施）

年間相談件数：27件

(8) 三田移住支援事業補助金

兵庫県と共同で国の交付金を活用した、東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）からの移住を伴う就業・起業に対する補助金。

対象：東京圏から三田市へ移住し、該当の中小企業へ就職した者、起業した者

補助額：世帯の場合は 100 万円、単身の場合は 50 万円

実績：5 件（4,700,000 円）

(9) うえるかむ三田支援事業補助金

三田市への移住を検討するために、三田市に宿泊する者に対する補助金。

対象：東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）から、カムバックひょうご東京センターを通じて移住を目的に三田市を訪問する者

補助額：1 人 1 泊につき 10,000 円（上限 2 泊、1 世帯 2 人まで）

実績：4 件（70,800 円）

(10) 住み替え支援事業補助金

市内の指定地域で新築・中古住宅を購入する若年世帯等への補助金。

補助額：最大 20 万円（基礎上限額 10 万円。市外転入の場合 5 万円、市外化調整区域の場合 5 万円加算）

実績：37 件（4,550,000 円）

(11) 結婚新生活支援補助金

市内で新生活をスタートさせる新婚世帯のスタートアップ費用を支援。

補助額：夫婦ともに婚姻時の年齢が 29 歳以下の場合、最大 60 万円

夫婦ともに婚姻時の年齢が 39 歳以下の場合、最大 30 万円

実績：35 件（9,746,000 円）

## 公民連携推進課

### 1 産官学地域連携推進事業

高等教育機関や企業等が有する豊かな人的、知的、物的資源を地域社会の課題解決に活かすため、市内外の大学、企業等と取り組みを進めた。

#### (1) 関西学院大学

「連携協力に関する協定」に基づき、下記事業を実施した。

ア 授業「情報化社会と人間」：三田市をフィールドに、学生が地域課題の解決策を考える総合政策学部等1～2回生対象の授業に当課職員がメンターとして参加。

イ その他、市との連携・協力事業 32件

ウ オープンセミナー

##### ①春季

日時：令和5年7月15日（土）、7月22日（土）、7月29日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：243人

##### ②秋季

日時：令和5年10月21日（土）、11月4日（土）、11月11日（土）

場所：まちづくり協働センター 多目的ホール

参加人数：170人

#### (2) 湊川短期大学

「連携協力協定」に基づき、連携・協力事業5件を実施した。

※市民大学は、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

#### (3) その他の連携協定

ア 大学等（連携事業件数）

①神戸親和大学（4件）

②神戸医療福祉専門学校三田校（1件）

③兵庫教育大学（5件）

イ 企業

株式会社フタリノ（令和5年9月15日協定締結）

ウ 学生への食品無償支援

昨年度に引き続きコロナ禍での学生支援として連携大学2校（湊川短期大学・神戸医療専門学校三田校）と連携し、食品支援を行った。

### 2 SDGsの推進

2015年に国際連合総会で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）が目指す「誰ひとり取り残さない」「持続可能」「パートナーシップ」という理念は、第5次総合計画によるまちづくりの理念と通じており、目標年次もほぼ同時期（総合計画：2031年度、SDGs：2030年）であるなど相互に共通していることから、本市のまちづくりの大切な理念の一つとして取り入れるとともに、SDGsの推進を掲げて積極的に取り組んでいる。令和5年度に、内閣府からSDGs未来都市の選定を受けた。

## (1) 市民へのSDGs参加型普及啓発

### ア わたしのSDGs宣言キャンペーン

SDGsの視点で日常を振り返り、ゴールの達成に繋がる自ら実践したい身近な取り組みを宣言、実践、皆の取り組みを見える化する。

#### ①実施概要

	期間	内容
宣言期間	令和5年5月1日～ 令和5年7月31日	SDGsを意識し、一人一人が取り組めることを宣言
実践期間	宣言～ 令和5年10月31日	自ら宣言したことに取り組むとともに、取り組み結果を自己採点して市へ報告
実感期間	令和5年12月1日～ 令和6年1月31日	皆の宣言や取り組みを共有し、さらなる意欲を高める

#### ②宣言提出部数 約2,000件

### イ 「わたしたちのSDGsさんだの木」展示

#### ①市役所展示 令和5年12月1日（金）～令和6年1月31日（水）

三田市役所本庁舎1階エレベーター前

※12月1日～25日は、「サンタ×三田プロジェクト」とコラボ展示

## (2) SDGs推進企業広告の設置（令和4年度職員提案事業）

三田市のSDGsに関する情報を発信するとともに、SDGsに取り組む事業者等の広告を募集し、期間を限定して掲出した。

#### ①掲載団体 6団体

#### ②掲載内容 各事業者等のSDGsに取り組んでいることや該当するSDGsゴールのアイコンなど。

## 3 ふるさと納税

ふるさと納税制度を活用し、寄附のお礼として本市ならではの地域のお品を返礼品として贈ることで、本市の魅力を全国へ向けてPRしている。

ふるさと納税にかかる寄附は「ありがとう！三田っ子応援基金」に積み立て、子どもの教育、子育て支援事業等へ活用しているほか、「コロナに負けるな！さんだエール基金」に積み立て、地域産業及び市民生活への支援に活用している。

### 【ふるさと納税寄附状況】

実績 155,207,400円

内訳 「ありがとう！三田っ子応援寄附金」5,392件 148,890,400円

「新型コロナウイルスに負けるな！」応援プロジェクト

240件 6,317,000円

お礼の品 258品 応援事業者 53業者

## 4 クラウドファンディング

ふるさと納税型のクラウドファンディングを活用し、全国的に特有害な事業や三田ならではの事業を中心に、市が取り組む事業を広くPRすることで三田の魅力を発信している。

いただいた寄附金は、各々の事業の促進のために活用している。

【クラウドファンディング寄附状況】 寄附実績 292,000円

事業名	件数	金額
ふるさと三田の風景を次世代につなぐ～三田さくら物語プロジェクト～	14件	250,000円
湿原に残る希少種をみんなで守ろう！豊かな自然環境を未来へつなごう！	3件	22,000円
本物にふれる体験と学びで子どもたちの成長を応援！	2件	20,000円

## 5 企業版ふるさと納税

国が認定した地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対し、企業が寄附を行った場合に、税額控除の優遇措置（「地方創生応援税制」）が受けられる制度を活用し、企業から寄附を募り、地方創生の取り組みに活用している。

【企業版ふるさと納税寄附状況】

年度	寄附件数	寄附額
令和元年度	2件	686,215円
令和2年度	2件	376,328円
令和3年度	7件	5,300,000円
令和4年度	6件	4,600,000円
令和5年度	13件	5,500,000円

## 地域医療推進課

### 1 三田市民病院改革プラン推進事業

三田市民病院改革プランに基づき、医師の確保や施設の老朽化等の課題を解決し、市民の命を将来にわたって守り抜くため、三田市民病院と済生会兵庫県病院を再編統合し、新統合病院を整備することにより、この地域の医療水準の維持・向上を目指す取組みを進めた。

#### (1) 実施事業

##### ① 新統合病院基本計画等策定事業

高齢化に伴う医療需要の増加等を見据え、三田・北神地域の急性期医療の充実を図るため、新統合病院の詳細な医療機能等を定めた基本計画等の策定を進めた。

##### ② 現三田市民病院跡地活用調査事業

地域課題の抽出、類似事例の把握、マーケットサウンディング調査等により、三田市民病院の跡地の有効活用に関する調査を進めた。

##### ③ 新統合病院整備に伴う市内交通影響等調査事業

将来交通量の推計、影響交差点の抽出、交通課題の整理等により、病院移転に伴う市内交通への影響調査、対応方針の検討を進めた。

#### (2) その他

##### ① 三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による急性期医療の確保に関する連携協約の締結（令和6年3月27日）

新統合病院の整備候補地が神戸市域であることから、三田市及び神戸市が連携して、円滑に事務を執行する必要があるため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の2第1項の規定に基づき、三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による急性期医療の確保のため、三田市と神戸市が連携して事務を執行するための役割分担を定める連携協約を神戸市と締結した。

##### ② 「三田市民病院事業の設置等に関する条例」及び「三田市民病院事業使用料及び手数料条例」の一部改正

三田市民病院事業について指定管理者制度を導入するにあたり、「三田市民病院事業の設置等に関する条例」及び「三田市民病院事業使用料及び手数料条例」の一部改正を実施した。

## 2 地域医療市民会議及びさんだ地域医療フォーラム実施

### (1) 地域医療市民会議

「三田市民病院のこれから」について、市民の皆さんに市民病院の現状や課題に関する必要な情報を発信し、市民の皆さんの意見をお聴きするために地域医療市民会議を開催した。

#### ① 実施期間

令和5年10月22日(日)～11月20日(月)

#### ② 実施回数

57回

#### ③ 参加者数・見学者数

参加者数：612名、見学者数：90名

#### ④ 開催回数及び参加者数・見学者数

会場	日程	参加者	見学者	合計
さんだ市民センター	10/22(日)	98名	18名	116名
広野市民センター	10/31(火)	56名	4名	60名
ウッディタウン市民センター	11/1(水)・11/3(金祝)	138名	39名	177名
藍市民センター	11/2(木)	60名	11名	71名
有馬富士共生センター	11/5(日)	50名	0名	50名
高平ふるさと交流センター	11/12(日)	41名	0名	41名
まちづくり協働センター	11/14(火)	38名	2名	40名
ふれあいと創造の里	11/18(土)	30名	0名	30名
フラワータウン市民センター	11/20(月)	101名	16名	117名
合計		612名	90名	702名

### (2) さんだ地域医療フォーラム

三田市の地域医療を将来にわたって守り続けるため、医療有識者をお招きし、市民の皆さんと一緒に地域医療の未来を考える場として開催した。

#### ① 実施日

令和5年11月23日(木・祝)

#### ② 実施会場

三田市総合文化センター 小ホール

#### ③ 参加者数

201名

## 3 三田市民病院経営強化プラン策定

総務省において策定された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、令和6年度～令和9年度までの4年間を計画期間とする三田市民病院経営強化プランを策定した。

#### 4 広報活動

##### (1) 再編統合ポータルサイト「to go」の開設

三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合にかかる情報について、その目的や内容が効果的にわかりやすく伝わるよう、関連情報を一元的に集約し、情報へのアクセス向上と発信強化を図るべく、再編統合ポータルサイト「to go」を開設した。

##### (2) YouTube 公式チャンネル「三田市民病院\_再編統合 News」を開設

三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合にかかる市民への適切な情報発信については、その目的や内容をわかりやすく効果的に伝わるよう、工夫が求められることから、YouTube 公式チャンネル「三田市民病院\_再編統合 News」を開設し、動画配信を実施した。

① 配信本数 12 本(R6. 3. 31 時点)

② 登録者数 232 名(R6. 3. 31 時点)

③ 配信日及び内容

配信日	内容
4/27(木)	【再編統合】現役医師から見る再編統合 ダイジェスト版
4/27(木)	【再編統合】現役医師から見る再編統合 フル版
9/21(木)	地域医療市民会議の開催について
10/18(水)	【対談シリーズ1】木村医師会長(前編)
10/19(木)	【お知らせ】さんだ地域医療フォーラムのお知らせ
10/20(金)	【お知らせ】市民会議に参加できない方へ(市民アンケートお知らせ)
10/30(月)	【対談シリーズ1-2】木村医師会長(後半)
10/30(月)	【対談シリーズ2】岩井診療技術部次長との対談
11/16(木)	【対談シリーズ3】前田看護部長との対談
11/23(木)	【対談シリーズ4】角田院長との対談
12/8(金)	さんだ地域医療フォーラム
3/1(金)	再編統合計画の「今」